

# みずほオセアニア債券ファンド

## <愛称：コアプラス>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年3月24日～2020年9月23日

第103期	決算日：2020年4月20日	
第104期	決算日：2020年5月20日	
第105期	決算日：2020年6月22日	
第106期	決算日：2020年7月20日	
第107期	決算日：2020年8月20日	
第108期	決算日：2020年9月23日	
第108期末 (2020年9月23日)	基準価額	6,042円
	純資産総額	1,070百万円
第103期～ 第108期	騰落率	17.1%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

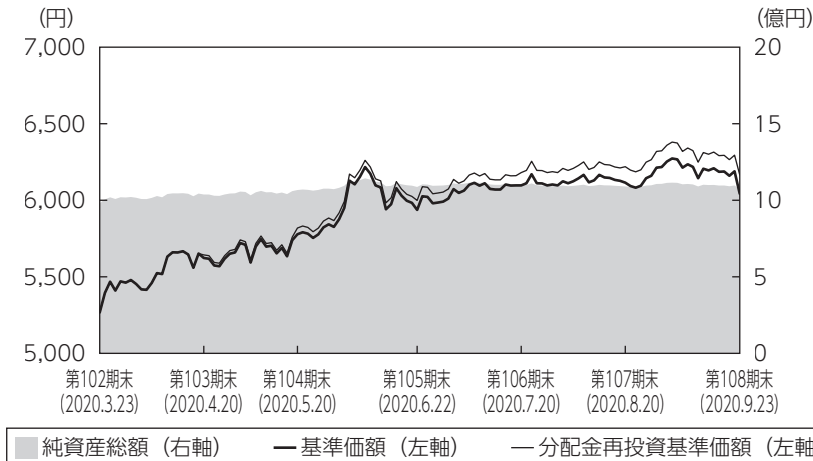
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第103期首： 5,267円  
 第108期末： 6,042円  
 (既払分配金120円)  
 騰落率： 17.1%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

オセアニア公社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行った結果、主要中央銀行が金融緩和策を強化したことから、国債利回りが低下(債券価格が上昇)したことに加え、金融市場のリスクセンチメント改善が進む中、資源価格も堅調推移となったことを背景に豪ドル、ニュージーランドドルがともに対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第103期～第108期		項目の概要
	(2020年3月24日 ～2020年9月23日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.609%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,923円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(15)	(0.250)	
(販売会社)	(20)	(0.333)	
(受託会社)	( 2)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	( 1)	(0.015)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
合計	37	0.625	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

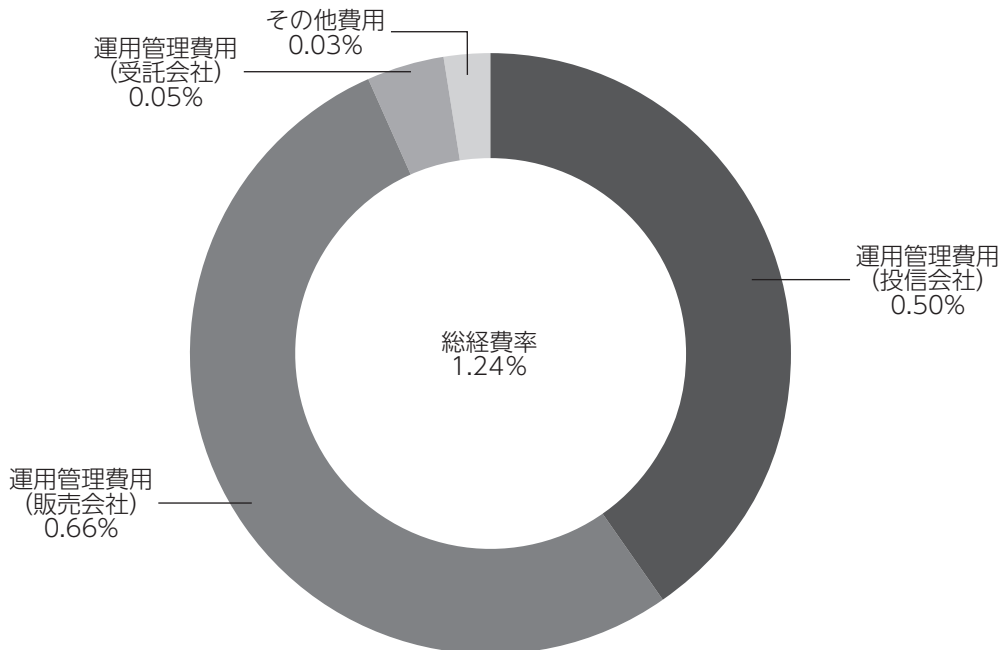
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



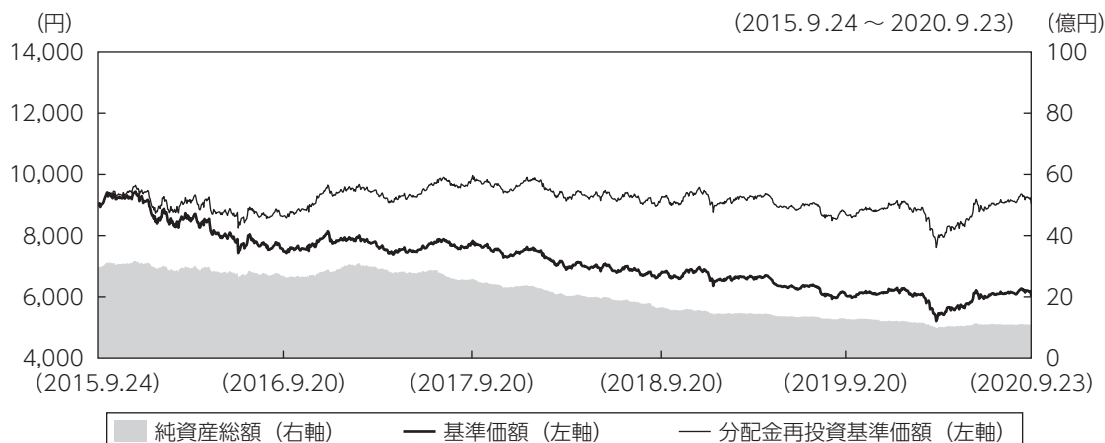
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年9月24日の基準価額に合わせて指数化しています。

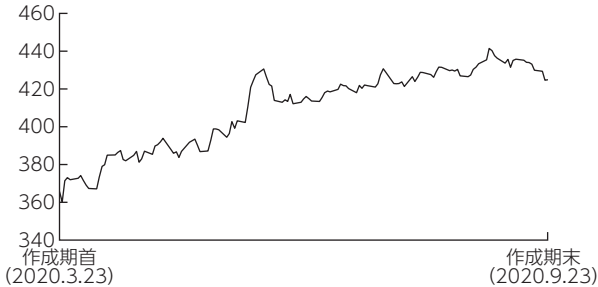
	2015年9月24日 期首	2016年9月20日 決算日	2017年9月20日 決算日	2018年9月20日 決算日	2019年9月20日 決算日	2020年9月23日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	8,988	7,481	7,754	6,772	6,051	6,042
期間分配金合計 (税引前) (円)	-	1,200	750	480	360	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	△3.9	14.2	△6.6	△5.5	3.9
参考指数の騰落率 (%)	-	△7.0	17.4	△6.8	△6.4	4.2
純資産総額 (百万円)	2,961	2,665	2,578	1,655	1,280	1,070

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はFTSE世界国債1-3年インデックス (オーストラリア) (円ベース) です。参考指数については後掲の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

## 投資環境

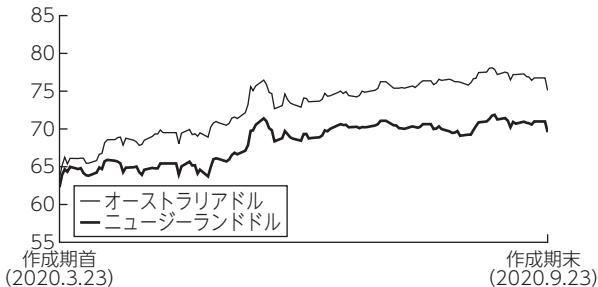
### ● 海外債券市況と為替市場

< F T S E 世界国債 1 - 3 年インデックス  
(オーストラリア) (円ベース) の推移 >



オーストラリアの3年国債利回り、ニュージーランドの国債利回り（2023年4月15日償還の国債の利回り）はともに前期末対比で低下しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けてオセアニアの中央銀行が金融緩和政策を強化したことなどが利回りの低下要因となりました。

< 対円為替レートの推移 >



為替市場では、豪ドル、ニュージーランドドルはともに対円で上昇しました。主要国の中央銀行の金融緩和政策と経済活動の再開などを背景に、金融市場のリスクセンチメントが改善したことや資源価格が堅調に推移したことなどが上昇要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

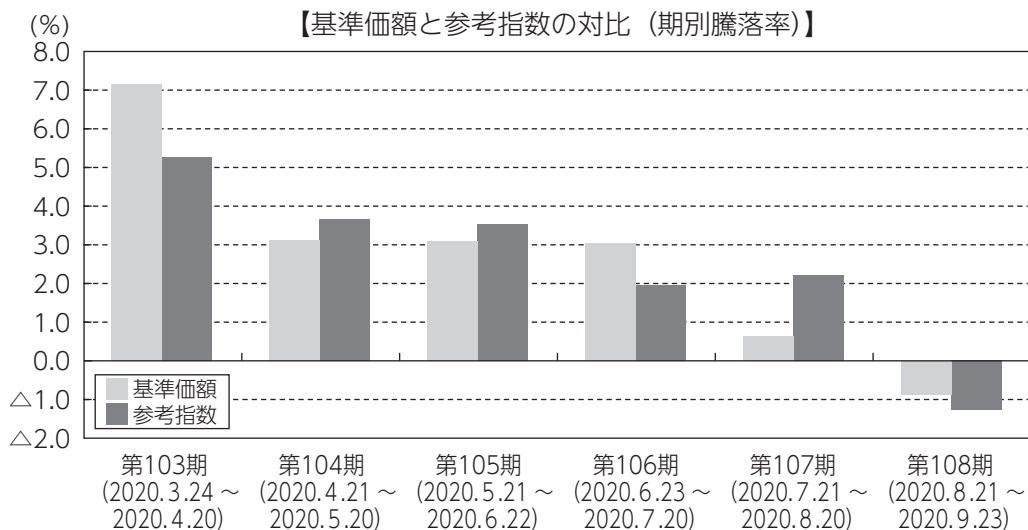
オセアニア公社債マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持しました。

### ●オセアニア公社債マザーファンド

ファンド全体のデュレーションは、1年から3年程度の中で長めを維持しました。組入債券の債券種別組入比率は、国債に対して州債や国際機関債などの非国債の比率を高めとする構成を維持しました。組入債券の通貨別組入比率は、豪ドル建て資産の比率を約60%、ニュージーランドドル建て資産の比率を約40%とする構成を維持しました。債券の組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2020年3月24日 ~2020年4月20日	2020年4月21日 ~2020年5月20日	2020年5月21日 ~2020年6月22日	2020年6月23日 ~2020年7月20日	2020年7月21日 ~2020年8月20日	2020年8月21日 ~2020年9月23日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.35%	0.34%	0.34%	0.33%	0.33%	0.33%
当期の収益	14円	15円	17円	15円	15円	12円
当期の収益以外	5円	4円	2円	4円	4円	7円
翌期繰越分配対象額	243円	239円	236円	232円	227円	219円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、オセアニア公社債マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●オセアニア公社債マザーファンド

オセアニアの国債利回りは、景気を下支えるため中銀が金融緩和姿勢を継続すると予想されることから、低位で推移すると考えます。このため、ファンド全体のデュレーションは1年から3年程度の中で長めとします。また債券種別組入比率は国債に対して州債などの非国債の比率を現状同様に高めとし、通貨別組入比率は豪ドル建て資産に対するニュージーランドドル建て資産の比率を現状同様に維持することを基本とします。

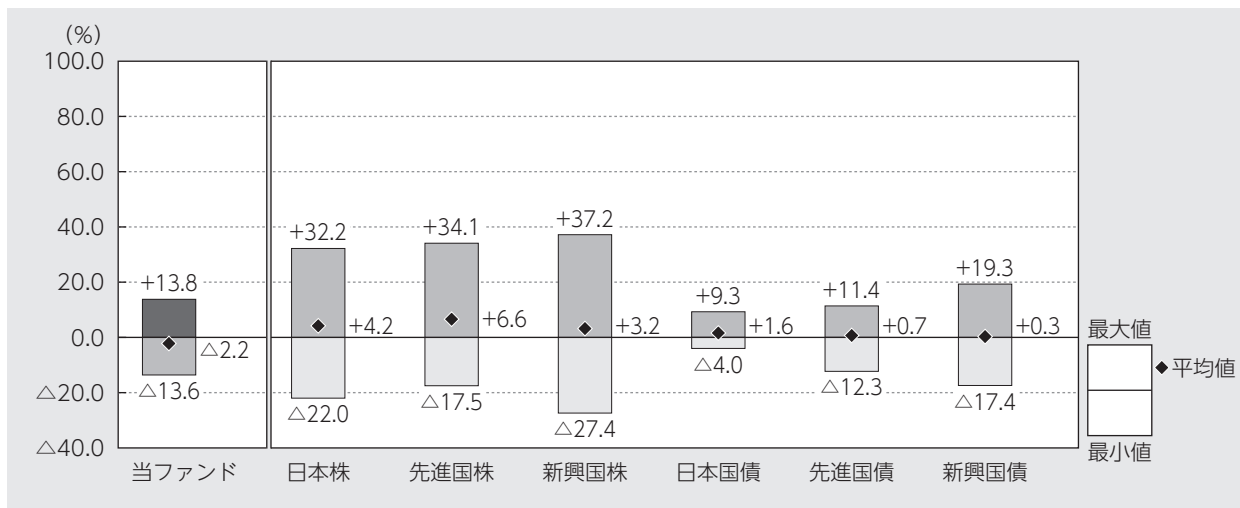


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年10月12日から2021年9月20日までです。	
運用方針	オーストラリアおよびニュージーランドの公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	みずほオセアニア債券ファンド	オセアニア公社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	オセアニア公社債マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの公社債を主要投資対象とします。
運用方法	公社債の組入比率は、原則として高位を維持します。 ファンド全体の平均デュレーションは、1年～3年程度とすることを基本とし、機動的に調整します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	第9期以降の每期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。(ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。)

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年9月～2020年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMorgan Global Diversified (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2020年9月23日現在）

#### ◆組入ファンド等

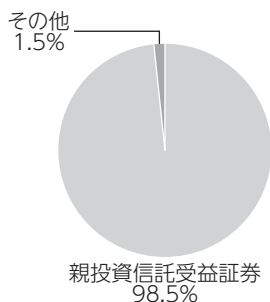
（組入ファンド数：1ファンド）

	第108期末
	2020年9月23日
オセアニア公社債マザーファンド	98.5%
その他	1.5

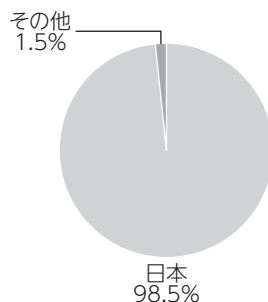
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

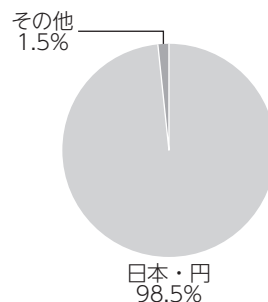
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

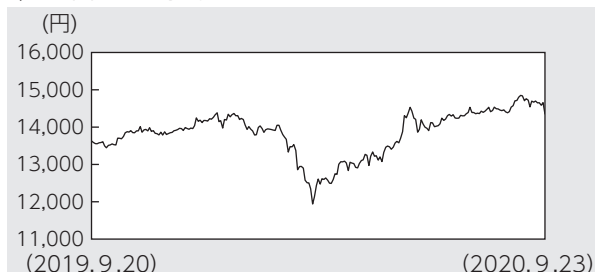
項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2020年4月20日	2020年5月20日	2020年6月22日	2020年7月20日	2020年8月20日	2020年9月23日
純資産総額	1,037,693,552円	1,066,807,664円	1,086,865,970円	1,104,715,327円	1,090,384,317円	1,070,598,422円
受益権総口数	1,845,319,230口	1,846,438,541口	1,830,669,075口	1,811,978,001口	1,782,996,989口	1,771,914,589口
1万口当たり基準価額	5,623円	5,778円	5,937円	6,097円	6,115円	6,042円

（注）当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は12,179,623円、同解約元本額は102,300,213円です。

## 組入ファンドの概要

【オセアニア公社債マザーファンド】（計算期間 2019年9月21日～2020年9月23日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

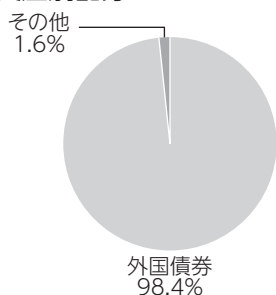
銘柄名	通貨	比率
QUEENSLAND 5.5 06/21/21	オーストラリア・ドル	17.0%
WESTERN AUST TREAS CORP 2.75 10/20/22	オーストラリア・ドル	15.0
LANDESKREDITBANK 3.625 02/08/22	ニュージーランド・ドル	14.5
AUSTRALIAN 2.25 11/21/22	オーストラリア・ドル	9.3
MANITOBA (PROVINCE OF) 3.6 08/17/27	オーストラリア・ドル	8.2
NEDER WATERSCHAPSBANK 3.15 09/02/26	オーストラリア・ドル	8.0
NIB 3.0 01/19/23	ニュージーランド・ドル	7.0
NEW ZEALAND 5.5 04/15/23	ニュージーランド・ドル	6.8
IADB 3.5 05/15/21	ニュージーランド・ドル	6.7
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 2.75 04/15/25	ニュージーランド・ドル	3.5
組入銘柄数		11銘柄

### ◆1万口当たりの費用明細

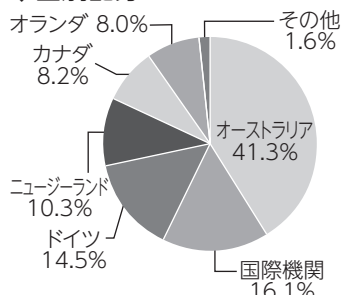
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.028% (0.028)
合計	4	0.028

期中の平均基準価額は13,841円です。

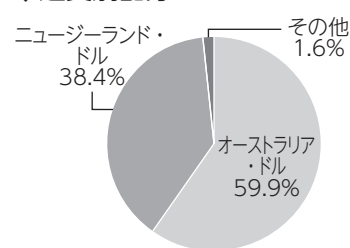
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <当ファンドの参考指数について>

### ●FTSE世界国債1-3年インデックス（オーストラリア）（円ベース）

「FTSE世界国債1-3年インデックス（オーストラリア）（円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、満期が1から3年までのオーストラリアが発行した国債で構成されているFTSE世界国債インデックスのサブインデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

